

2023年4月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年6月2日

上場会社名 株式会社 アイホールディングス 上場取引所 東 札
 コード番号 9627 URL <https://www.ainj.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大谷 喜一
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務 (氏名) 水島 利英 TEL 011-814-1000
 定時株主総会開催予定日 2023年7月28日 配当支払開始予定日 2023年7月31日
 有価証券報告書提出予定日 2023年7月31日
 決算補足説明資料作成の有無：有 (決算補足資料は、適宜、当社ホームページに掲載いたします。)
 決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年4月期の連結業績 (2022年5月1日～2023年4月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年4月期	358,742	13.4	16,004	5.7	17,064	6.4	9,234	30.2
2022年4月期	316,247	6.4	15,139	38.5	16,041	26.8	7,092	5.9

(注) 包括利益 2023年4月期 9,446百万円 (32.5%) 2022年4月期 7,126百万円 (5.1%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年4月期	262.87	—	7.5	7.7	4.5
2022年4月期	201.47	—	6.0	7.7	4.8

(参考) 持分法投資損益 2023年4月期 -百万円 2022年4月期 2百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年4月期	231,750	126,546	54.6	3,599.47
2022年4月期	212,461	119,010	56.0	3,385.51

(参考) 自己資本 2023年4月期 126,449百万円 2022年4月期 118,923百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年4月期	20,267	△22,292	△11,237	46,217
2022年4月期	26,156	△13,943	△7,753	59,470

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年4月期	—	0.00	—	55.00	55.00	1,932	27.3	1.7
2023年4月期	—	0.00	—	60.00	60.00	2,107	22.8	1.7
2024年4月期(予想)	—	0.00	—	60.00	60.00		25.5	

3. 2024年4月期の連結業績予想 (2023年5月1日～2024年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	183,459	7.2	6,087	△10.3	6,421	△11.8	3,185	△16.3	90.66
通期	375,000	4.5	15,663	△2.1	16,302	△4.5	8,250	△10.7	234.84

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）、除外 ー社 （社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2023年4月期	35,428,212株	2022年4月期	35,428,212株
2023年4月期	298,188株	2022年4月期	300,911株
2023年4月期	35,129,116株	2022年4月期	35,202,302株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想数値と異なる結果となる場合があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(会計方針の変更)	14
(表示方法の変更)	14
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度（2022年5月1日～2023年4月30日）におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続いたものの、行動制限の緩和等により、緩やかな持ち直しの傾向がみられます。一方で、物価上昇や金融資本市場の変動等により未だ不透明な状況が続いております。

このような経済情勢の中、新型コロナウイルス感染症への感染防止対策を徹底し、医療・小売サービスの提供に努めてまいりました。事業による様々な社会課題の解決への貢献を通じて、ステークホルダーの皆様へ「この街にアインがあって良かった」と感じていただける企業にしていきたいと考えております。

当社はマテリアリティ（重要課題）として、「地域医療への貢献」、「美しさと健やかさの提供」、「安全・安心と信頼」、「環境保護・負荷低減」、「健全な経営基盤」、「地域社会・取引先との連携」の6つを特定し、各取り組みにおけるKPI及び2025年度目標を公表しております。

2022年7月には「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）[※]」の最終報告書（TCFD提言）が推奨する4つの開示項目について整理・設定し、コーポレートサイトにおいて開示、同年9月には、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーション強化を目的とし、マテリアリティに対する具体的な取り組みや人材戦略、DX戦略等、中長期的な価値向上のための取り組みを掲載した統合報告書を新たに作成いたしました。また、同年11月には、「地域社会・取引先との連携」の実現に向け「CSR調達方針・ガイドライン」を制定、さらに国連グローバル・コンパクトへの署名及びグローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパンへ加入いたしました。

本年3月には、日本健康会議による「健康経営優良法人認定制度」において、特に優良な健康経営を実践している企業を顕彰する「健康経営優良法人2023（大規模法人部門）」に、昨年に引き続き認定されました。人的資本経営の観点から、また、「経営基盤の強化」においても、社員の健康増進を強化することを掲げており、一人ひとりのパフォーマンス発揮による生産性の向上や離職率の低下等を図ってまいります。

今後も様々な取り組みを通じ、持続的な成長と、社会・環境・経済価値を創出し、サステナビリティ経営の実現に向けて取り組んでまいります。

※ TCFD：「気候関連財務情報開示タスクフォース（Task Force on Climate-related Financial Disclosures）」の略。G20財務大臣及び中央銀行総裁の意向を受け、金融安定理事会（FSB）が設置。2017年6月に最終報告書「TCFD提言」を公表

当連結会計年度の業績は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (百万円)	当連結会計年度 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	316,247	358,742	42,494	13.4
営業利益	15,139	16,004	864	5.7
経常利益	16,041	17,064	1,022	6.4
親会社株主に帰属する当期純利益	7,092	9,234	2,142	30.2

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

		前連結会計年度 (百万円)	当連結会計年度 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
ファーマシー事業	売上高	283,111	321,577	38,465	13.6
	セグメント利益	25,082	24,135	△946	△3.8
リテール事業	売上高	20,558	25,685	5,127	24.9
	セグメント利益	△1,764	1,214	2,978	—
その他事業	売上高	12,677	11,540	△1,136	△9.0
	セグメント利益	△146	135	282	—

(注) セグメントの売上高にはセグメント間の内部売上高を含んでおります。

(ファーマシー事業)

当社グループでは、医療機関等との連携、お薬手帳等を活用した服薬情報の一元的・継続的な把握、在宅医療対応等により、患者様が住み慣れた地域で安心して医療を受けることができるよう、「かかりつけ薬剤師・薬局」の機能発揮に取り組んでおります。

本年1月の厚生労働省による電子処方箋管理サービス運用の開始に先立ち、当社グループでは、運用プロセスの確立や先進的取り組み、優良事例の収集、ガイドラインの策定等を目的とし、2022年10月末に開始された厚生労働省による「電子処方箋のモデル事業」に参画いたしました。現在は、当社グループの全国の薬局において電子処方箋に対応するため、順次環境の整備を進めております。今後も、環境変化に対応し、患者様がいつでも安心して薬物治療を継続していただけるよう取り組んでまいります。

営業開発においては、2022年5月に株式会社ファーマシーホールディングスの約100店舗をグループに迎える等、新規出店及び前期出店の伸長が当連結会計期間の業績に寄与いたしました。引き続き、大型薬局の積極的な出店と投資回収を重視したM&Aを出店戦略とし、さらなる事業規模の拡大を行うとともに、店舗運営の効率化を推進してまいります。

同期間の出店状況は、M&Aを含め、グループ全体で合計141店舗を出店し、24店舗の閉店、7店舗の事業譲渡により、当社グループにおける薬局総数は1,209店舗となりました。

(リテール事業)

コスメ&ドラッグストア事業は、新型コロナウイルス感染症の影響が続いているものの、オリジナルブランドの見直し及びコスト適正化を推進しており、当連結会計期間においては、行動制限の緩和等により客数が堅調に推移したことならびにコスト適正化が奏功し、黒字となりました。

同期間の出店状況は、8店舗を出店し、8店舗を閉店したことで、コスメ&ドラッグストア総数は78店舗となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産の残高は、前連結会計年度末より192億8千8百万円増の2,317億5千万円となりました。主な要因は、のれん及び商品等がM&Aを含む新規出店により増加したことによるものであります。

負債の残高は、117億5千3百万円増の1,052億4百万円となりました。

短期及び長期借入金の残高は、2億3千3百万円増となる86億9千1百万円となりました。

純資産の残高は、75億3千5百万円増の1,265億4千6百万円となり、自己資本比率は1.4ポイント減となる54.6%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物は、前連結会計年度に比べ132億5千2百万円減の462億1千7百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、202億6千7百万円（前年同期は261億5千6百万円の収入）となりました。

主な収入要因として、税金等調整前当期純利益が158億8千2百万円、新規出店及びM&Aによる規模拡大に伴い、減価償却費55億2千9百万円、のれん償却額43億1千万円が反映されております。

また、法人税等の支払額78億9千7百万円及び棚卸資産の増減額49億4千8百万円が主要な支出要因として反映されております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、222億9千2百万円（前年同期は139億4千3百万円の支出）となりました。

M&A 9社の株式取得に係る、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が146億1千4百万円、コスメ&ドラッグストア及び調剤薬局の新規出店等に伴い、有形固定資産の取得による支出95億4千9百万円が反映されております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、112億3千7百万円（前年同期は77億5千3百万円の支出）となりました。

短期及び長期の借入と返済の差額が90億3千8百万円の支出及び配当金の支払額19億3千2百万円が反映されております。

当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

	2020年4月期	2021年4月期	2022年4月期	2023年4月期
自己資本比率 (%)	57.3	56.8	56.0	54.6
時価ベースの自己資本比率 (%)	110.4	105.6	96.6	85.5
債務償還年数 (年)	0.4	0.8	0.3	0.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	276.8	334.7	671.8	384.8

(注) 自己資本比率 自己資本／総資産
 時価ベースの自己資本比率 株式時価総額／総資産
 債務償還年数 有利子負債／営業キャッシュ・フロー
 インタレスト・カバレッジ・レシオ 営業キャッシュ・フロー／利払い

※ 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

※ 有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

※ 営業キャッシュ・フロー及び利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業活動によるキャッシュ・フロー」及び「利息の支払額」を利用しております。

(4) 今後の見通し

次期につきましても、ファーマシー事業においては、調剤薬局の新規開発、M&Aの積極活用により、引き続き事業規模の拡大を図ります。

リテール事業においては、コスメ&ドラッグストア「アインズ&トルペ」の好立地への継続的な出店に加え、商品力強化による魅力的な売り場づくりに取り組むことで顧客の獲得を図るとともに、コスト適正化を継続して推進いたします。

なお、地政学リスクの高まりによる原材料価格や燃料価格の高騰及び諸物価の上昇継続に加え、各事業における顧客サービス向上のためのアプリ機能の強化及び経営基盤強化のためのシステム投資、ならびに人的資本経営推進のためのコスト増加を見込んでいることから、増収減益の見通しとしております。

翌連結会計年度の業績見通しは、次のとおりであります。

	当連結会計年度 (百万円)	翌連結会計年度 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	358,742	375,000	16,257	4.5
経常利益	17,064	16,302	△762	△4.5
親会社株主に帰属する当期純利益	9,234	8,250	△984	△10.7

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、会計基準は日本基準を適用しております。なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年4月30日)	当連結会計年度 (2023年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	59,729	46,796
受取手形及び売掛金	10,110	13,249
商品	14,568	21,299
貯蔵品	222	286
短期貸付金	306	355
未収入金	11,832	11,969
その他	3,995	4,348
流動資産合計	100,765	98,305
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	34,876	41,127
減価償却累計額	△17,364	△19,720
建物及び構築物(純額)	17,512	21,407
土地	8,581	10,602
建設仮勘定	1,804	3,904
その他	10,000	11,665
減価償却累計額	△7,262	△8,120
その他(純額)	2,737	3,545
有形固定資産合計	30,636	39,459
無形固定資産		
のれん	36,352	46,443
その他	4,866	5,900
無形固定資産合計	41,219	52,343
投資その他の資産		
投資有価証券	2,503	2,720
長期貸付金	196	704
繰延税金資産	5,319	5,990
退職給付に係る資産	20	23
敷金及び保証金	22,785	24,507
その他	10,309	8,007
貸倒引当金	△1,294	△312
投資その他の資産合計	39,840	41,641
固定資産合計	111,696	133,444
資産合計	212,461	231,750

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年4月30日)	当連結会計年度 (2023年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	50,756	58,698
短期借入金	2,643	3,670
未払法人税等	4,391	3,328
預り金	15,415	18,232
賞与引当金	2,713	3,215
役員賞与引当金	18	22
契約負債	544	532
その他	5,321	5,284
流動負債合計	81,805	92,986
固定負債		
長期借入金	5,815	5,021
リース債務	9	32
退職給付に係る負債	3,578	4,498
その他	2,242	2,664
固定負債合計	11,645	12,218
負債合計	93,450	105,204
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,894	21,894
資本剰余金	20,500	20,504
利益剰余金	78,661	85,963
自己株式	△2,018	△2,000
株主資本合計	119,038	126,362
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△39	△7
退職給付に係る調整累計額	△75	95
その他の包括利益累計額合計	△114	87
非支配株主持分	86	96
純資産合計	119,010	126,546
負債純資産合計	212,461	231,750

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年5月1日 至 2022年4月30日)	当連結会計年度 (自 2022年5月1日 至 2023年4月30日)
売上高	316,247	358,742
売上原価	266,275	305,043
売上総利益	49,971	53,698
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	1,875	2,229
販売促進費	595	161
給料手当及び賞与	7,457	7,327
賞与引当金繰入額	972	1,049
役員賞与引当金繰入額	18	22
退職給付費用	281	327
法定福利及び厚生費	2,626	2,920
通信交通費	997	1,168
リース料	70	87
地代家賃	5,042	5,528
減価償却費	1,234	1,529
のれん償却額	4,133	4,257
租税公課	1,587	2,222
その他	7,938	8,862
販売費及び一般管理費合計	34,832	37,694
営業利益	15,139	16,004
営業外収益		
受取利息	41	54
受取配当金	45	62
持分法による投資利益	2	—
投資事業組合運用益	83	28
受取手数料	22	17
不動産賃貸料	384	222
固定資産受贈益	18	32
業務受託料	172	211
技術指導料	74	68
補助金収入	173	323
その他	303	356
営業外収益合計	1,323	1,379
営業外費用		
支払利息	38	52
債権売却損	87	103
不動産賃貸費用	219	51
貸倒引当金繰入額	6	48
その他	69	62
営業外費用合計	421	318
経常利益	16,041	17,064

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年5月1日 至 2022年4月30日)	当連結会計年度 (自 2022年5月1日 至 2023年4月30日)
特別利益		
固定資産売却益	200	11
事業譲渡益	13	73
保険解約返戻金	5	35
段階取得に係る差益	131	—
その他	55	1
特別利益合計	406	121
特別損失		
固定資産除売却損	329	193
減損損失	2,302	906
投資有価証券評価損	116	91
賃貸借契約解約損	493	—
その他	80	112
特別損失合計	3,322	1,303
税金等調整前当期純利益	13,125	15,882
法人税、住民税及び事業税	6,925	6,844
法人税等調整額	△899	△205
法人税等合計	6,025	6,638
当期純利益	7,100	9,244
非支配株主に帰属する当期純利益	8	9
親会社株主に帰属する当期純利益	7,092	9,234

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年5月1日 至 2022年4月30日)	当連結会計年度 (自 2022年5月1日 至 2023年4月30日)
当期純利益	7,100	9,244
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△26	31
退職給付に係る調整額	52	170
その他の包括利益合計	26	201
包括利益	7,126	9,446
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	7,118	9,436
非支配株主に係る包括利益	8	9

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2021年5月1日 至2022年4月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	21,894	20,500	73,506	△3	115,899
会計方針の変更による累積的影響額			10		10
会計方針の変更を反映した当期首残高	21,894	20,500	73,517	△3	115,909
当期変動額					
剰余金の配当			△1,948		△1,948
親会社株主に帰属する当期純利益			7,092		7,092
自己株式の取得				△2,015	△2,015
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	5,143	△2,015	3,128
当期末残高	21,894	20,500	78,661	△2,018	119,038

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△12	△128	△141	78	115,837
会計方針の変更による累積的影響額					10
会計方針の変更を反映した当期首残高	△12	△128	△141	78	115,847
当期変動額					
剰余金の配当					△1,948
親会社株主に帰属する当期純利益					7,092
自己株式の取得					△2,015
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△26	52	26	8	34
当期変動額合計	△26	52	26	8	3,162
当期末残高	△39	△75	△114	86	119,010

当連結会計年度（自2022年5月1日 至2023年4月30日）

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	21,894	20,500	78,661	△2,018	119,038
当期変動額					
剰余金の配当			△1,932		△1,932
親会社株主に帰属する当期純利益			9,234		9,234
自己株式の処分		3		18	21
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	3	7,302	18	7,323
当期末残高	21,894	20,504	85,963	△2,000	126,362

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△39	△75	△114	86	119,010
当期変動額					
剰余金の配当					△1,932
親会社株主に帰属する当期純利益					9,234
自己株式の処分					21
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	31	170	201	9	211
当期変動額合計	31	170	201	9	7,535
当期末残高	△7	95	87	96	126,546

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年5月1日 至 2022年4月30日)	当連結会計年度 (自 2022年5月1日 至 2023年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	13,125	15,882
減価償却費	4,792	5,529
のれん償却額	4,133	4,310
減損損失	2,302	906
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2	△27
段階取得に係る差損益(△は益)	△131	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	364	△393
契約負債の増減額(△は減少)	105	△12
事業譲渡損益(△は益)	△13	△72
賞与引当金の増減額(△は減少)	109	41
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	2	3
受取利息及び受取配当金	△87	△116
支払利息	38	52
持分法による投資損益(△は益)	△2	—
投資事業組合運用損益(△は益)	△83	△22
固定資産受贈益	△18	△32
投資有価証券売却損益(△は益)	△34	16
投資有価証券評価損益(△は益)	116	91
固定資産除売却損益(△は益)	128	182
売上債権の増減額(△は増加)	4,111	795
棚卸資産の増減額(△は増加)	△171	△4,948
その他の資産の増減額(△は増加)	△359	△231
未収入金の増減額(△は増加)	△2,376	1,007
仕入債務の増減額(△は減少)	3,235	3,013
その他の負債の増減額(△は減少)	1,217	2,032
その他	—	86
小計	30,502	28,094
利息及び配当金の受取額	89	123
利息の支払額	△38	△52
法人税等の支払額	△4,396	△7,897
営業活動によるキャッシュ・フロー	26,156	20,267

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年5月1日 至 2022年4月30日)	当連結会計年度 (自 2022年5月1日 至 2023年4月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,880	△9,549
有形固定資産の売却による収入	2,131	1,509
投資有価証券の取得による支出	△905	△511
投資有価証券の売却による収入	819	555
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,322	△14,614
貸付けによる支出	△53	△122
貸付金の回収による収入	340	294
無形固定資産の取得による支出	△2,535	△2,606
無形固定資産の売却による収入	10	3
敷金及び保証金の差入による支出	△3,842	△2,444
敷金及び保証金の回収による収入	1,442	1,169
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△3,186	1,238
定期預金の払戻による収入	47	2,993
定期預金の預入による支出	△9	△209
その他	1	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,943	△22,292
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△6	△484
長期借入れによる収入	300	10
長期借入金の返済による支出	△3,842	△8,564
自己株式の取得による支出	△2,015	—
配当金の支払額	△1,948	△1,932
その他	△241	△266
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,753	△11,237
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,460	△13,262
現金及び現金同等物の期首残高	55,009	59,470
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	9
現金及び現金同等物の期末残高	59,470	46,217

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下、「時価算定会計基準適用指針」という。)を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、連結財務諸表に与える影響はありません。

(表示方法の変更)

(連結キャッシュ・フロー計算書)

前連結会計年度において「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「出資金の払込による支出」及び「出資金の回収による収入」で表示していた科目の整理を行い、当連結会計年度より「その他」に含めて記載することとしました。また、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の「社債の償還による支出」及び「リース債務の返済による支出」で表示していた科目の整理を行い、当連結会計年度より「その他」に含めて記載することとしました。

重要性がないこの表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「出資金の払込による支出」△0百万円、「出資金の回収による収入」1百万円を「その他」1百万円として、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の「社債の償還による支出」△134百万円、「リース債務の返済による支出」△107百万円を「その他」△241百万円として組替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、調剤薬局、ジェネリック医薬品の販売、人材紹介業及びコンサルティング業等により構成される「ファーマシー事業」、コスメ&ドラッグストアの経営等により構成される「リテール事業」を軸とし、売店事業や不動産賃貸業を行う「その他の事業」の3種に区分し、各事業単位で事業戦略の立案、検証を行っております。

そのため、「ファーマシー事業」、「リテール事業」及び「その他の事業」の3種を報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、経常利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2021年5月1日 至 2022年4月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	ファーマシー事業	リテール事業	その他の事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	283,111	20,558	12,576	316,247	—	316,247
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	100	100	△100	—
計	283,111	20,558	12,677	316,347	△100	316,247
セグメント利益又は損失(△)	25,082	△1,764	△146	23,170	△7,128	16,041
セグメント資産	166,198	12,810	9,269	188,279	24,181	212,461
その他の項目						
減価償却費	2,531	534	287	3,352	517	3,870
のれん償却額	3,985	6	140	4,133	—	4,133
減損損失	1,121	1,021	127	2,270	32	2,302
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	6,162	1,028	435	7,626	1,287	8,913

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△7,128百万円には、全社費用が8,170百万円、報告セグメントに配賦不能の損益(△は益)が△1,164百万円、セグメント間取引消去が121百万円含まれております。

なお、全社費用は、報告セグメント外の管理部門及びシステム物流部門に係る費用であります。

セグメント資産の調整額24,181百万円は、報告セグメント外の管理部門及びシステム物流部門に係る資産等とセグメント間取引消去の差額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2022年5月1日 至 2023年4月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	ファーマシー事業	リテール事業	その他の事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	321,577	25,685	11,479	358,742	—	358,742
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	61	61	△61	—
計	321,577	25,685	11,540	358,803	△61	358,742
セグメント利益又は損失(△)	24,135	1,214	135	25,484	△8,420	17,064
セグメント資産	195,327	13,628	9,638	218,595	13,155	231,750
その他の項目						
減価償却費	3,118	426	232	3,777	767	4,545
のれん償却額	4,163	6	140	4,310	—	4,310
減損損失	730	175	—	906	—	906
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	8,317	551	1,021	9,891	2,039	11,931

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△8,420百万円には、全社費用が9,695百万円、報告セグメントに配賦不能の損益(△は益)が△1,304百万円、セグメント間取引消去が29百万円含まれております。

なお、全社費用は、報告セグメント外の管理部門及びシステム物流部門に係る費用であります。

セグメント資産の調整額13,155百万円は、報告セグメント外の管理部門及びシステム物流部門に係る資産等とセグメント間取引消去の差額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2021年5月1日 至 2022年4月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2022年5月1日 至 2023年4月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2021年5月1日 至 2022年4月30日）

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2022年5月1日 至 2023年4月30日）

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2021年5月1日 至 2022年4月30日）

(単位：百万円)

	ファーマシー事業	リテール事業	その他の事業	全社・消去	合計
当期償却額	3,985	6	140	—	4,133
当期末残高	35,263	47	1,041	—	36,352

当連結会計年度（自 2022年5月1日 至 2023年4月30日）

(単位：百万円)

	ファーマシー事業	リテール事業	その他の事業	全社・消去	合計
当期償却額	4,163	6	140	—	4,310
当期末残高	45,500	41	900	—	46,443

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2021年5月1日 至 2022年4月30日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2022年5月1日 至 2023年4月30日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年5月1日 至 2022年4月30日)	当連結会計年度 (自 2022年5月1日 至 2023年4月30日)
1株当たり純資産額	3,385円51銭	3,599円47銭
1株当たり当期純利益	201円47銭	262円87銭

(注) 1. 潜在株式が存在していないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益は記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年5月1日 至 2022年4月30日)	当連結会計年度 (自 2022年5月1日 至 2023年4月30日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	7,092	9,234
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	7,092	9,234
期中平均株式数(株)	35,202,302	35,129,116

(重要な後発事象)

該当事項はありません。